



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.38

大問題!

防衛省 統合幕僚監部 戦争法案成立前提に自衛隊運用計画

11日の参院安保法制特別委員会で、日本共産党の小池晃参院議員は、防衛省統合幕僚監部の内部文書「日米防衛協力のための指針（ガイドライン）及び平和安全法制関連法案について」を取り上げ、質問しました。

法案成立前に自衛隊が編成計画などの検討を行っていたことが問題となり、審議中断したまま散会となっています。

軍事作戦次つぎ一戦前の軍部独走と同じ構図—シビリアン・コントロールにも違反

統合幕僚監部の資料は、「今後の進め方」とする日程表で「8月に平和安全法制が成立」、その「6カ月以内の施行」開始として来年2月に施行と明記しています。また、7日に部隊派遣延長が閣議決定されたばかりの南スーダンPKO（国連平和維持活動）について、来年3月から「駆けつけ警護」を認めるなど、戦争法案を反映させる日程が具体的に示されています。

中谷氏は「ご提示していただいている資料がいかなるものかは承知をしていない」と、文書の真偽について答弁を避けました。

小池氏は、「大臣が知らないところで検討が進められているのは大問題だ」と追及。事実確認を求めたのに対し、中谷氏は「同じ表題の資料、これは存在する」と認めました。ただ、内容の詳細には立ち入らず、「国会の審議が第一であり、法案の内容を先取りするようなことは控えなければならない」との答弁に終始しました。

小池氏は「これでは戦前の『軍部の独走』と同じではないか。こんなことは絶対に許されない」と批判しました。

国会審議＝国民の声をもまったく無視したもので、このような憲法違反、国会無視は断じて許すことはできません。

シビリアン・コントロール(文民の政治家が軍隊を統制する)＝軍部が独走しないように、文官が軍を統治するというシステム

メディア、SNSでも批判相次ぐ

インターネットの短文投稿サイト（ツイッター）上には、「こんなのは法治国家ではない」などの投稿が相次ぎ、新聞、テレビなどのメディアも「自衛隊内部資料めぐり紛糾」（「朝日」12日付）、「防衛省、安保法案を先取り」（「中日」12日付）など小池質問をいっせいに取り上げました。

質問で小池氏は、戦争法案の「8月中の成立・来年2月施行」を前提に、自衛隊内で部隊編成などの法案の実実施計画が立てられていた内部文書を暴露。政府も「同じ表題の資料は存在する」（中谷元・防衛相）と認めました。国会で戦争法案が審議中にもかかわらず、自衛隊内部で法案成立を前提にした克明な検討がされていたことを意味し、国会無視、国民を欺くものです。

テレビ朝日系「報道ステーション」（11日放送）では、キャスターの古舘伊知郎氏が「このところ、順序が逆だろうということがものすごく多い」「まず国会が最優先という原点に立つべきだ」と苦言を呈し、

コメンテーターの立野純二・朝日新聞論説副主幹は、「この法案は、国会で論議が進めば進むほど問題点が噴出している」と指摘しました。

「日刊スポーツ」（12日付）は、小池氏の追及について「法案成立を目指す安倍政権には想定外の『小池爆弾』となった」と報じています。

兵庫・西播労連 姫路市を提訴 姫路市が言論統制「集会」強制中止に

7月24日、西播地域労働組合総連合（西播労連）は、「安倍政権NO！首相官邸包囲」行動に呼応しようと「駅前文化祭」（実行委員会主催）を開催。午後5時から8時の予定でJR姫路駅北側のにぎわい広場で開きました。しかし、開始間もなく、姫路市から管理委託を受けた業者が「電源を切る」と脅しながら、舞台上の「アベ政治を許さない」ポスターの撤去や同文のビラ配布中止を要求しました。やむを得ず受け入れ、参加者全員でビラを掲げるパフォーマンスも中止しました。演目や内容も許可条件に反しているとして、再三介入を受けましたが、各団体の表現の問題として拒否しました。

会場使用の取り消し理由は「公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがある」

「使用許可が取り消された」と通告されたのは、開演から約1時間半が経過した、民族歌舞団「花こま」による三線と面踊りの上演中。理由をたどると、許可証の「(1)公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認める場合」を囲み、示しました。

憲法上からも重大な問題

マスコミ各社は、「駅前広場で政権批判 行事中止」という見出しで、「姫路市周辺の労働組合でつくる西播地域労働組合総連合が主催した『安倍政治を許さない』と書かれたビラが掲げられるなどしたため、中止を求めた」などと、一斉に報じました。

姫路市による処置は戦前の「弁士中止」に代表される言論弾圧を想起させるもので言語道断、明らかに憲法21条、地方自治法244条に反する違憲・違法な処分であって、到底、容認することができないものです。

西播労連 8月11日神戸地裁姫路支部に提訴

姫路市は、「許可内容から逸脱していた」「申請内容が虚偽であった」「要請に従わなかった」「条例に違反していた」などと事実を反することを数々と根拠もなく流し続けてきたこと、一方で石見利勝市長が謝罪を表明しながら、西播労連にも問題があったという事実を反することが平然と述べられていることなどもふまえ、11日、姫路市を提訴しました。

西播労連に対する謝罪と抜本的改善策、「駅前文化祭」をやり直す機会を求めるとともに、応じた場合は訴訟を取り下げるとの申し入れも同時に行いました。

戦争法案廃案！安倍政権退陣！

列島騒然！の動きをつくろう すべての加盟組織の最大限の結集を！

8月30日 10万人国会包囲 1万人以上の大動員で8・30大行動を大成功させよう

8月30日 全国100万人行動 列島騒然！全国各地で行動を

9月2日、9日 「戦争法案ゼツタイ廃案！全国統一行動」（50万人総行動）

文字どおり全組合員規模の総行動を展開しよう。

日本社会の未来がかかった歴史的なたたかいで、労働運動の総力をあげたとりくみをつくりだそう。

とりくみ

【北海道高教組】 高校教員 100 人が宣伝・リレートーク



10日、全道各地から高校教員100人が札幌の大通り公園に集結。リレートークで「教え子も、元教え子の自衛官も、だれ一人戦場に送らない！」と熱く市民に訴えました。

函館、帯広、遠軽、壮瞥町、旭川、札幌・・・全道各地の教員が次つぎマイクを握り、「教え子が何人も自衛官になりました。しかし、多くは災害救援などで誰かの力になればというのが動機。ましてや日本に攻めて来てもない外国人に銃を向け、殺しあう任務など考えてのものではありません」「わが家の向かいの自衛官一家ともご近所付き合いしています」「70年重ねてきた戦争しない国のあり方を、いま変えて良いとは思えない」「平和をつくることを教えたい」「戦後70年を"戦前最後の年"になんか、することはできない」と熱く

訴えました

前日から行われた道高教組の全道会議では、「障害者は平和でないと生きられません」「戦争と障害者の幸せは絶対両立しません」とする障害児学校部からの発言など、熱く戦争法案廃案へ向けたたたかいが語られ、全労連や「総がかり行動実行委員会」がよびかける8月30日、9月2-9の統一行動への意思統一が行われました。

「終戦70年」8月15日にも苫小牧、帯広、札幌など各地で集会、宣伝行動が行われます。

【全労働北海道支部】 国民の命は首相のおもちゃじゃない！！

◆150808「連合通信・隔日版」より

・〈機関紙拝見〉戦争法案反対の伝え方／(6)見出しで怒りを伝える／『躍熊』(全労働北海道支部)

大胆な見出しが目を引きまします。「国民の命は首相のおもちゃじゃない！！」。労働行政に携わる国家公務員でつくる全労働省労働組合の北海道支部が発行している機関紙『躍熊（やくゆう）』です。

「首相」の文字にあえて「あんた」とルビを振るなど、安保関連法案（戦争法案）の成立を狙う政府への怒りがにじみ出ています。

記事の中身は、7月11日に開かれた「わたしたちは戦わない北海道大集会」での発言を紹介。元自衛官の「末延さん」は「後方支援の後方という言葉に騙されてはいけない。補給活動（をすること）で戦争に巻き込まれる…こんなバカな法案により（自衛隊員が）命を落としたとなったら浮かばれない」と語っています。

●読者に考えてほしい

編集担当の澤忠夫さんは「元自衛官の発言と写真はぜひ入れたかった。この問題をイデオロギーや政党の主張だと勘違いしている組合員もいるので、そうじゃないことを事実で伝えようと考えました」。これまでも、元防衛官僚で内閣官房副長官補を務めた柳澤協二さんのインタビューを掲載。「日本を守るため」という政府の言い分が軍事的にもおかしいと分かるように工夫してきたと言います。

若い女性や子どもたちが参加しているデモの写真を掲載。左上には、さりげなく安倍内閣の支持率の推移グラフも。「読者に考えてほしいから」（澤さん）と、余計なコメントは一切付けていません。

【京都】いのちを守る医療労働者は戦争法に反対します 心に響く医療労働者の訴え

京都医労連・京大職組病院支部・京都自治労連

従軍看護師になるために看護師になったのではありません。患者さんに寄り添う看護がしたいのです！

8月8日、京都医労連・京都自治労連など、京都府内の医師や看護師の労働組合は、四条河原町で戦争法案反対の宣伝を行いました。

看護師などが次々に市民に訴え。「高齢の患者さんに、私は戦争を体験したが、本当に悲惨だった。あんたらががんばらなあかんよと激励された。私は4歳の子どもがいるが、この子どもを戦場には行かせない」「僕の周りにも仕事がないから自衛隊に行くという青年がいるという。事実上の徴兵制じゃないですか」「戦争が起これば、私たちの日赤が一番先に戦場に送られる」「私たちは戦争をする人を助けるために看護師になったのではない」などと訴え。組合員は、「みんなに訴えたが、ホンマに気持ちが入って、泣きそうになってしまった」「初めてマイクで話したが、緊張したあ」などなどと感想。



じっと話を聞いていた市民が黙って「署名するわ」と言ってくれたり、「三重から来たんですが、戦争法案はダメですね」と言って署名をしていただけました。また、多くの方が戦争法案反対のビラを受け取っていただけました。

参加者は、「暑い日が続きますが、とても反応が良かった。またやりましょう！」

地元国会議員への要請を強めましょう

全労連ホームページ下記バナーから「憲法・平和」のページへ

議員要請用のひな型、衆・参国会議員名簿がダウンロードできます。

<http://www.zenroren.gr.jp/index.html>



憲法闘争行動日程

*主催団体記載のない行動は「総がかり行動実行委員会」の主催

8月18日(火) *9月以降も

◆**とめよう！戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動** 全国各地

*憲法共同センターは、都内7カ所

- ・新宿東口・上野駅マルイ前・御茶ノ水駅の3カ所は、毎週18時～19時
- ・巣鴨駅(25日は行いません)18時～19時
- ・西新橋1丁目交差点(毎週17時半～18:15)
- ・茗荷谷駅(8/18、8/25の17時～18時)
- ・池袋駅東口(8/18の12時～13時実施)

8月20日(木)、27日(木) *9月以降も

◆**戦争法案廃案！強行採決反対！国会前木曜連続行動** 衆院第2議員会館前 18時半～19時半
*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

8月25日(火) *9月以降も

◆**とめよう！戦争法案 毎週火曜日いっせい宣伝行動** 全国各地

*憲法共同センターは、都内7カ所

- ・新宿東口・上野駅マルイ前・御茶ノ水駅の3カ所は、毎週18時～19時
- ・四谷駅18時～19時
- ・西新橋1丁目交差点 毎週17時半～18:15
- ・茗荷谷駅17時～18時
- ・大塚駅12時半～13時実施

8月26日(水)

◆**議員要請&署名提出集会** 主催:憲法共同センター

*集会14:00～15:00 *議員要請15:00～ *衆院第1議員会館・多目的ホール

◆**安保法制等の法案に反対する日比谷野音大集会&パレード** 主催:日本弁護士連合会

*集会18時～19時 *パレード19:15～ *日比谷野外音楽堂

8月30日(日)

☆**全労連 大宣伝行動(大演説会) 12:15～13:00**

- ①新宿駅西口:東京と民主団体および近畿など ②池袋駅東口:埼玉と栃木、群馬、山梨、長野など
③上野マルイ前:千葉と茨城、新潟および東北など ④有楽町マリオン前:民間単産本部と神奈川および北海道、中国、四国、九州など ⑤新橋駅SL口:公務単産の本部・首都圏組織および東海北陸など

◆**戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動**

*14:00～16:00(国会周辺) *全国各地で集会・宣伝

9月2日(水)、9日(水)

☆**全労連 戦争法案ゼツタイ廃案！全国統一行動**

9月9日(水)

◆**「9の日」大行動** 全国各地で

*憲法共同センター、東京共同センターは、新宿駅西口 12:00～13:00

9月10日(木)

◆**議員要請&署名提出集会** 主催:憲法共同センター

*集会14:00～15:00 *議員要請15:00～ *衆議院第1議員会館 大会議室